

未来へ！

高知市立十津小学校
2023. 2. 16
第 36号

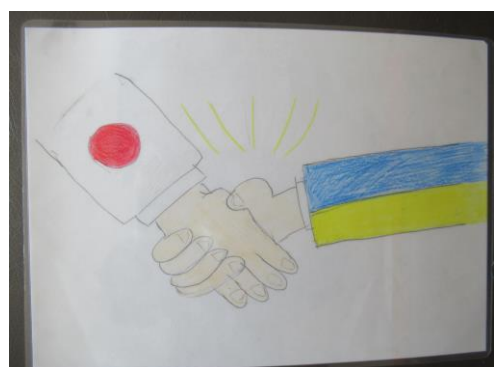
求める児童像

心豊かな子
自ら学ぶ子
たくましい子

出前授業で学びを深めています

ウクライナ絵手紙プロジェクト

ずいぶん前のことになりますが、1月11日、高知新聞で以前紹介されたウクライナの子どもに絵手紙を送るプロジェクトに、6年生が参加させてもらうことになり、Future discoveryの皆さんに出前授業をしていただきました。絵本の読み聞かせやウクライナの現状の紹介の後、全員がそれぞれの思いを込めた絵手紙を作りました。「戦争が終わったらいっしょに遊びたいです。」「がんばれ！応援しています。」等の日本語のメッセージと平和を願うイラストをかいた後、GIGAタブレットを使い、メッセージの翻訳にも挑戦しました。見聞きしたことのないウクライナ語ですが、たくさんの子どもが自力で翻訳をすることができ、6年生の意欲に感心しました。自分たちと同世代の子どもたちのまわりで、今起きていることだけに、いつも以上に真剣に考え、意欲を持って取り組めたのだと思います。子どもたちの絵手紙は1月末にウクライナの子どもたちに届けてくださったそうです。返事が届くのが楽しみです。



プログラミング教室

1月17日と24日の2日間に渡り、6年生がドローンを使ったプログラミング学習を体験しました。授業をしてくださったのは、福留開発の職員の皆さん。これまでプログラミングの学習はしてきましたが、実際にモノを動かす経験は今回が初めて、しかもドローンを飛ばすということで、子どもたちは興味津々で授業に臨みました。授業の初め、建築業は人々のくらしと安全を守ることを通して社会の役に立っていること、小学校で今勉強している全ての教科が働くことに直接つながること等、キャリア教育に関するお話をいただきました。社会に役立つ仕事の最前線にいる方々の話には説得力があります。働くこと、学ぶことについて一人ひとりが考えることができたように思います。続いてドローンの操縦体験をさせてもらいました。全員がある程度操作できるようになった後は、いよいよプログラミングです。飛行する距離や向きを変える角度を班で協力して計測し、タブレットでブロックを並べたり数値を入力したりします。飛ばしてみると風やセンサーの精度の問題で、なかなか思う通りには飛ばず、みんなで話し合い、再計測したり数値を微調整したり……。試行錯誤を繰り返し、かなり難しいコースを時間内にクリアした班もありました。

学校で学ぶ内容も多様化し、複雑になってきています。外部の方の力もお借りしながら、これからも学びを深めたり広げたりしていきたいと思っています。

